



平成31年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社バリューデザイン 上場取引所 東
 コード番号 3960 URL https://www.valuedesign.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 上田 恭子 (TEL) 03(6661)0115
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第1四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	481	17.5	2	—	0	—	0	—
30年6月期第1四半期	409	20.6	△30	—	△32	—	△33	—

(注) 包括利益 31年6月期第1四半期 △1百万円(—%) 30年6月期第1四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	0.51	0.49
30年6月期第1四半期	△22.88	—

(注) 平成30年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第1四半期	1,278	854	66.4
30年6月期	1,340	852	63.1

(参考) 自己資本 31年6月期第1四半期 849百万円 30年6月期 845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年6月期	—	—	—	—	—
31年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,123	3.4	△197	—	△210	—	△172	—	△118.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年6月期1Q	1,468,700株	30年6月期	1,465,600株
31年6月期1Q	32株	30年6月期	32株
31年6月期1Q	1,466,222株	30年6月期1Q	1,452,903株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当第1四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、システム利用料売上の増加（前年同期比22.8%増）等により前年同期比17.5%増の481,324千円となりました。一方で販売管理費及び一般管理費が前年同期の7.5%増（売上増に伴う代理店手数料の増加等）となったことから、営業利益は2,948千円（前年同期は30,065千円の営業損失）となりました。通期の業績予想につきましては、第2四半期以降に計画しているシステム開発、人材採用などの投資を実行する予定であるため、現状の予想数値を据置いております。

当社グループの所属する電子決済市場においては、キャッシュレス決済を広く普及させようとする国策の下、既存の大手決済/金融関連事業者による事業拡大や新規サービスのリリース、スマートフォン決済を軸とした、異業種の有力企業の決済領域への新規参入など、非常に活発な事業展開がなされており、市場の成長性は非常に良好な状態が続いております。足元では、キャッシュレス化の推進に向け様々な決済端末の普及が進んでおり、プリペイドカードにおいても端末投資コストの低減により導入加速が見込まれております。またそれにより、プリペイドカードの利用方法もより一般化、習慣化し、取扱高が増加していくことも期待されております。

このような市況の下、当社グループが事業展開している「バリューカードASPサービス」も、引き続き導入企業数・店舗数ともに堅調に推移しており、平成30年9月末時点で導入企業数は643社、導入店舗数は66,198店舗となっております。ハウスプリペイドカード事業においては、全国の飲食店・小売店を中心に需要が旺盛な状況が続いており、また海外市場については、東南アジアでの受注が増加しているほか、2018年7月にはインドのプリペイドプロセッサをグループに加えております。ブランドプリペイドカード事業においても取扱高（プリペイド入金額）の堅調な推移が続いております。

セグメントの事業業績は、次のとおりであります。

① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、大手飲食チェーンやスーパーマーケット等での利用が引き続き好調であり、取扱高は前年同期比41.2%増と堅調に成長が続いております。また、新規受注ではホームセンター業態や、まだハウスプリペイドカードが普及していなかった業態の飲食チェーン等など、新たな業態での導入も増加しております。海外展開については2018年7月に6,000超の導入店舗を持つインドのプリペイドプロセッサの完全子会社化を行い、それを加えた導入店舗数は累計で66,198店（前年同期比23.6%増）となっております。この結果、売上高は436,560千円（前年同期比20.1%増。初期売上11.1%増、システム利用料売上26.2%増）となりました。

システム利用料を中心とした増収に加え、販売費及び一般管理費は計画通りに前年同期と同程度の水準となった結果、セグメント利益（営業利益）は77,348千円（前年同期比68.5%増）となりました。

② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、前年同期に比して当第1四半期連結累計期間におけるカスタマイズ開発案件が減少した一方、既存イシュー（カード発行会社）の提携先（注）における取引高及びそれに伴うシステム利用料売上は堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は44,763千円（前年同期比3.2%減）、セグメント損失（営業損失）は3,554千円（前期はセグメント損失15,891千円）となりました。

（注）提携先とは、カード発行会社（イシュー）が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客（会員組織等）に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高481,324千円（前年同期比17.5%増）、営業利益2,948千円（前期は営業損失30,065千円）、経常利益284千円（前期は経常損失32,450千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益752千円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失33,240千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて62,244千円減少し、1,278,673千円となりました。これは主として、現金及び預金が98,605千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて63,615千円減少し、424,657千円となりました。これは主として、未払金が28,891千円、未払法人税等が15,046千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,370千円増加し、854,016千円となりました。これは主として、新株予約権の行使による新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,262千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年6月期の業績予想につきましては、現時点では平成30年8月13日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,854	488,249
売掛金	268,791	258,523
たな卸資産	12,214	6,914
その他	35,055	34,403
貸倒引当金	△2,912	△3,060
流動資産合計	900,002	785,030
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	95,615	85,203
その他	172,822	164,389
有形固定資産合計	268,438	249,593
無形固定資産		
ソフトウェア	139,311	123,691
その他	11,398	12,194
無形固定資産合計	150,710	135,886
投資その他の資産		
その他	22,045	108,434
貸倒引当金	△278	△270
投資その他の資産合計	21,767	108,164
固定資産合計	440,916	493,643
資産合計	1,340,918	1,278,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,284	65,970
1年内返済予定の長期借入金	19,980	19,980
未払金	97,309	68,418
未払法人税等	23,037	7,990
その他	79,578	69,883
流動負債合計	286,189	232,242
固定負債		
長期借入金	170,080	165,085
退職給付に係る負債	—	1,404
その他	32,003	25,925
固定負債合計	202,083	192,415
負債合計	488,272	424,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,914	704,176
資本剰余金	694,876	696,138
利益剰余金	△550,114	△549,362
自己株式	△129	△129
株主資本合計	847,546	850,823
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,842	△1,306
その他の包括利益累計額合計	△1,842	△1,306
非支配株主持分	6,942	4,498
純資産合計	852,645	854,016
負債純資産合計	1,340,918	1,278,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
売上高	409,681	481,324
売上原価	246,796	270,962
売上総利益	162,885	210,361
販売費及び一般管理費	192,951	207,412
営業利益又は営業損失(△)	△30,065	2,948
営業外収益		
受取利息	6	6
為替差益	1,578	449
その他	21	0
営業外収益合計	1,606	456
営業外費用		
支払利息	3,991	2,794
その他	0	326
営業外費用合計	3,991	3,120
経常利益又は経常損失(△)	△32,450	284
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,450	284
法人税、住民税及び事業税	572	2,041
法人税等調整額	217	—
法人税等合計	790	2,041
四半期純損失(△)	△33,241	△1,756
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2,509
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,240	752

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△33,241	△1,756
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,714	602
その他の包括利益合計	△1,714	602
四半期包括利益	△34,955	△1,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,851	1,289
非支配株主に係る四半期包括利益	△103	△2,443

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	363,415	46,266	409,681	—	409,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	363,415	46,266	409,681	—	409,681
セグメント利益又は損失(△)	45,908	△15,891	30,016	△60,082	△30,065

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,082千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	436,560	44,763	481,324	—	481,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	436,560	44,763	481,324	—	481,324
セグメント利益又は損失(△)	77,348	△3,554	73,794	△70,845	2,948

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。